

防災士ママと行政の協働による 子育て防災の「はじめのいっぽ」



大阪府堺市「おやこ to ぼうさい」
光武さやか、北口ひろこ

1 はじめに

防災に関心を持った子育て中の母たちが集まり、令和元年より堺市北区役所と協働しながら子育てファミリーに向けた防災普及啓発活動を行っています。現在は他区とも協働したり、堺市内の多くの子育てひろば等で定期的に防災講座を開催しています。これらの多くは口コミで広がっており、子育て世帯の防災への強い関心が伺えます。その想いに対し、災害に際してご家族の命を守り、被災後も少しでも健やかに過ごせることを願って、私たちの精いっぱいをお伝えしています。

2 きっかけ

防災に関する情報は膨大で幅広く多様なため「はじめのいっぽ」が踏み出しにくいと感

じ、さらに住む地域の災害特性を知り、家族の命が守れるのかと不安になった経験から、同じ子育て世帯へ向けて活動を始めました。またメンバー全員が防災士の資格を取得し、専門的知識を身に付けながら子育ての視点を取り入れて分かりやすく伝えることを常に心がけています。

3 取り組み内容

◆「子育てファミリーのための防災ブック」
落ち着いて情報を確認しにくい子育て中の保護者に向け、情報を網羅するよりも必要なものに絞った防災ブックを作りました。育児の合間にさっと目を通すだけでも印象に残り、もっと知りたいと感じられるような工夫をちりばめています。さらに堺市の災害時の対応を紹介する一方で、公助には限界があり



イラストを交えて読みやすくまとめた「子育てファミリーのための防災ブック」

家族を守れるのは自分たちであることも強くお伝えしています。具体的には、家族防災会議の重要性、乳幼児のいる家庭に適した災害時避難バックの作り方、被災時に役立つ抱っここの方法、子育て中の被災体験談など、子育て世帯に役立つ情報をまとめ、オリジナル制作したデザイン・イラストでより親子が見やすく親しみやすいビジュアルを目指しました。

北区版を最初に発刊し、区域の災害特性を捉えた内容を加えて堺区版、東区版も続けて制作しました。

◆ 「おやこ to ぼうさい」 講座



マザーズバックの中身を防災用品に代用／公園でのバッククッキング調理体験
（「おやこ to ぼうさい」 講座）

4 成果と今後

受講後アンケートから「受講を機に『やってみよう』と思うこと」を編集のうえ以下に抜粋します。[備蓄品に関して] 分散保管の検討（例えば各部屋に水を置く）やこどもと一緒に備蓄品を見直すなど。[家族防災会議に関して] 夫と災害時の連絡に使う伝言板を決める、家族ともしもの時の事を話すなど。[災害時避難バックの作り方に関して] マザーズバックの見直し、身近なものでの防災グッズの代用、オムツを色々な用途に使う工夫、抱っこ紐の代用など。[防災食作りに関して] パック料理の実施、離乳食を作るときと一緒にアイラップでお粥を作るやり方に慣れておくなど。

母親の視点から子育て中ならではの創意工

前述の防災ブックの掲載情報を分かりやすく伝えるほか、被災を想定し屋内外で防災食を作り・食べるなど体験を通して楽しみながら学ぶ講座を実施しています。0歳児、未就園児、小学生など対象を回ごとに絞り、参加者の年代に合わせた情報を伝えています。行政と協働することで、育児情報を調べる保護者へ講座を知ってもらいやすく、子どもと遊びに行く気軽さで参加してもらっています。保護者には、育児から得た知識・発想力は災害時にも有効であることに気付いてもらい、結果的に防災は身近で容易なものだと認識してもらえるよう構成しています。

夫や考え方も含めて講座で投げかけることで、受講した保護者に自分ごととして捉えてもらえるようになったと事後アンケートより考察しています。これは防災の「はじめのいっぽ」を踏み出した証拠でもあり、今までに参加者から頂いた沢山のお言葉と共感から、各家庭での防災が実践されることを期待しています。みんなが何かしら動きはじめ、防災力を高められるよう今後も伝え続けていきたいです。

- 「子育てファミリーのための防災ブック」を12,850部配布。（R4～5年度ホームページアクセス数1,250）
- 「おやこ to ぼうさい」講座を実施し、200以上の家族が参加。（R4～5年度ホームページアクセス数3,432）